

市議会だより

令和7年11月17日発行

第3回定例会【9月】 令和6年度決算を認定



南アルプス市の利水・治水の歴史シリーズ「浅原の避水台」

●表紙写真 新山梨環状道路若草ランプ南側の釜無川の堤防は、周囲より広く造られています。ここが、かつて浅原村（現在の南アルプス市浅原）の人々が、水害の際に避難するために造られた「避水台」です。長く水害に苦しんできた浅原村のため、享和2年（1802）に幕府によって設けられた、県内ではここだけの施設です。かつて目印となる大きな杉の木があったともいわれ、今でも地域では、この場所を「一本杉」と呼んでいます。避水台には水神がまつられ、毎年8月25日に浅原地区、藤田地区合同で水防祈願祭が行われています。

目次・主な内容

P02 第3回定例会（9月）の概要
P04 審議結果一覧
P05 各常任委員会委員長報告
P06 予算決算特別委員会レポート
P07 代表質問・5議員

P12 一般質問・10議員
P17 政務活動報告
P18 議会活動報告
P19 特集 議会改革推進
P20 市民からひとこと／編集後記



一般会計 令和6年度決算を認定

歳入は過去最大の決算額

歳出は過去2番目の決算額

令和7年第3回定例会が9月5日から10月8日までの34日間の会期で開催されました。

金丸市長から、条例案6件、補正予算案7件、決算認定案15件、同意案1件、ほか7件、合わせて36案件の提出がありました。

※4ページ参照

決算議会といわれる今定例会では、令和6年度一般会計をはじめ、12の特別会計および2つの企業会計の決算認定について審議しました。一般会計の決算については、歳入総額415億8367万4千円、歳出総額388億4326万9千円となり、歳入は過去最大の決算額に、歳出は令和2年度に次ぐ過去2番目の決算額となりました。

※3ページ上段参照

一般会計補正予算額は、補正額を12億8224万8千円とし、予算総額を438億732万9千円とするものでした。

※中下段参照

市長から提出された案件は、いずれも原案のとおり可決及び認定、同意しました。

また、教育に関する請願があり、これを採択しました。

※3ページ参照

代表・一般質問

※7～16ページに掲載

今定例会では、9月17、18日に15名の議員が代表・一般質問を行いました。

第3回定例会で決まった注目案件（補正予算）

1105万円

もも・すももの生産を支援

もも・すもも生産拡大支援事業
ほか2事業

- ・規模拡大や新規に取り組む生産者の生産性向上に必要な機械の導入に対し、また、すももの高品質化を図る取り組みやももの振興品種への改植に対し、補助金を交付する。
- ・財源は、県の補助金を活用。



104万円

東京圏から本市に移住し県内に就職した新卒大学生等を支援

- ・東京圏から本市に移住し、県内の企業に就職した新卒大学生等に対し、移住に要した移転費等を支援する。
- ・財源は、県の補助金を活用。

752万円

子ども家庭総合支援拠点事業 こども家庭センターの 相談環境を充実

- ・こども家庭センターの相談環境の充実のため、市健康福祉センター内に相談用ワークスペースを整備する。
- ・財源は、国、県の補助金を活用。

5119万円

南アルプスIC周辺整備事業 南アルプスIC周辺 中央エリアを整備

- ・南アルプスIC周辺中央エリアの土地利用を図るため、企業の募集・選定や造成設計を行う。

168万円

中学校教育活動費 中学校吹奏楽部の楽器を 修繕および追加購入

- ・白根巨摩・白根御勅使・甲西中学校の吹奏楽部で使用している既存楽器の修繕や追加の楽器を購入する。
- ・ガバメントクラウドファンディングによる目標額を上回った寄付金を活用。



1651万円

北部学校給食センター給食事業 学校給食一食当たりの額を見直し

- ・物価高騰に伴う食糧費高騰により、小中学校の児童生徒に提供する学校給食の一食あたりの額を見直す。

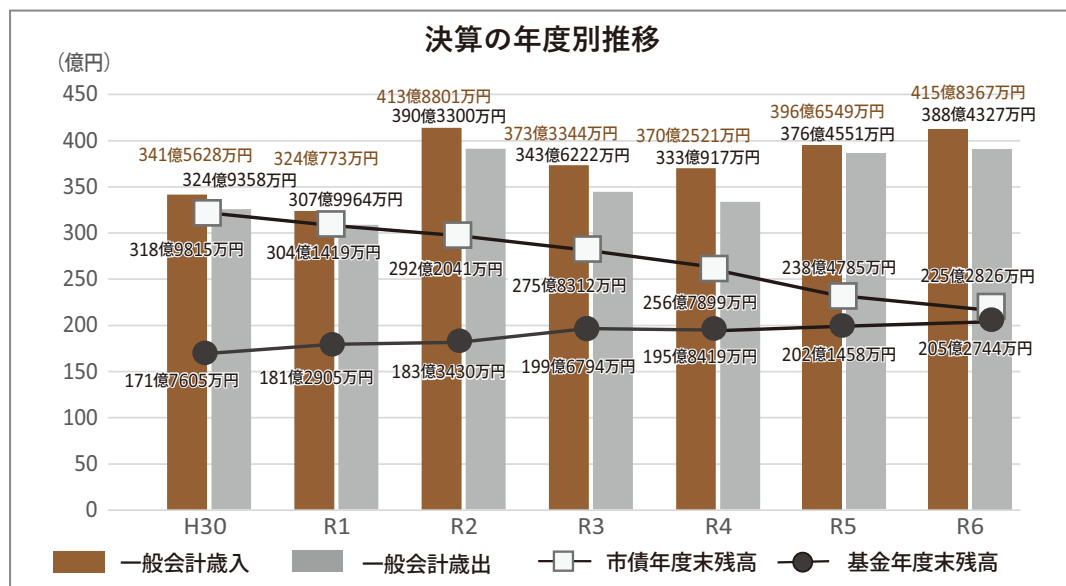
小学校 一食あたり318円↓350円
中学校 一食あたり360円↓396円



令和6年度 決算

令和6年度 主な会計決算額		単位：円
一般会計	歳入	415億 8367万
	歳出	388億 4327万
特別会計	国民健康保険	歳入 68億 3702万
		歳出 67億 7527万
	後期高齢者医療	歳入 18億 7397万
		歳出 18億 7182万
	介護保険	歳入 65億 320万
		歳出 63億 8102万
会計(水道事業(税込))	収益的収支	収益 16億 1019万
		費用 13億 7722万
	資本的収支	収入 6億 4965万
		支出 15億 5260万

令和6年度の決算状況は、歳入は過去最大の決算額、歳出は令和2年度に次ぐ過去2番目の決算額になりました。物価高騰の影響に対する市民生活支援策や子育て支援策等に注力するとともに、将来の財政負担を軽減するために、基金残高の増、市債残高の減の取り組みが行われました。ふるさと納税寄附金や国の交付金等を活用し、財源確保に努め、健全な財政運営を堅持しています。今後も将来を見据えた計画的な財政運営と積極的な財源確保の取り組みが求められます。



グラフの市債残高の中には地方交付税によって措置される地方債（合併特例債など）も含まれていますので、実際に市が負担する金額は、ここに記載された金額よりも少なくなります。

請願の審査

今定例会では1件の請願がありました。所管委員会での審査並びに本会議において、全会一致で採択し、市議会から国の関係機関に意見書を提出しました。

学校の働き方改革・長時間労働是正の実現のための教職員定数改善と「カリキュラム・オーバーロード」の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

概要

子どもたちは、将来の日本社会の担い手であり、教育の充実は極めて重要である。

国会および政府においては、地方教育行政の実情を十分に認識し、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるように、以下の措置を講じられるよう強く要請する。

- ・中学校の学級編制基準の引き下げに当たっては、加配定数の振り替えではなく、教職員定数の実質的な増員で行うこと。
- ・学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配の増員など教職員定数改善を推進すること。
- ・教職員の働き方改革はもとより、子どもたちのゆたかな学びの保障のために、「カリキュラム・オーバーロード」の早期改善のため、学習指導要領の内容の精選を行うこと。
- ・義務教育の根幹である、教育の機会均等・水準確保・無償制の維持に不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持すること。
- ・教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。

第3回定例会 審議した議案とその結果

上程議案		戸栗淳議長は議事進行のため賛否表明は しません。	○：賛成 ×：反対	結 果	吉 松 大 樹	清 水 麻 里	河 阪 悠	飯 久 保 貴	秋 山 浩 志	相 川 宗 仁	保 坂 広 人	藤 田 亜 由 未	保 坂 健	三 枝 守 和	松 野 昇 平	三 木 充	花 輪 幸 長	村 松 三 千 雄	矢 崎 俊 秀	小 池 伸 吾	飯 野 久	齊 藤 博 明	河 野 木 綿 子	名 取 常 雄	小 林 敏 徳		
条例の制定																											
議案	63	南アルプスⅠC周辺中央エリア立地企業選定委員会条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	64	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の一部改正																											
議案	65	職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	66	税条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	67	地域公共交通会議条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	68	移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度補正予算																											
議案	69	一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	70	国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	71	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	72	介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	73	土地取得造成事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	74	水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	75	下水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度歳入歳出決算の認定																											
認定	1	一般会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	2	国民健康保険特別会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	3	後期高齢者医療特別会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	4	介護保険特別会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	5	居宅介護予防支援事業特別会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	6	温泉給湯事業特別会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	7	山梨県北岳山荘管理事業特別会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	8	芦安恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	9	中尾山外一字恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	10	高尾山外一字恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	11	城山外一字恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	12	雨鳴山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	13	土地取得造成事業特別会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	14	水道事業会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	15	下水道事業会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他																											
議案	76	市道路線の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	77	令和6年度水道事業会計利益剰余金の処分	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	78	令和6年度下水道事業会計利益剰余金の処分	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	79	財産の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意	23	教育委員会委員の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問	1	人権擁護委員候補者の推薦	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問	2	人権擁護委員候補者の推薦	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問	3	人権擁護委員候補者の推薦	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	7-3	学校の働き方改革・長時間労働は正の実現のための教職員定数改善と「カリキュラム・オーバーロード」の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案																											
南ア議	7	学校の働き方改革・長時間労働は正の実現のための教職員定数改善と「カリキュラム・オーバーロード」の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

各常任委員会 委員長報告

常任委員会の質疑の要約を掲載しています。各常任委員会では、条例案など予算以外の案件について審査しました。

質疑の一部を掲載しています

総務常任委員会

●南アルプス市周辺中央エリア
立地企業選定委員会条例の制定

Q 選定委員会委員の学識経験者
とはどのような方を考えている



か、また、委員の人数内訳は。

A 学識経験者は2名を予定しており、本市の政策研究、まちづくり、都市計画及び本事業の過程に深く携わっていた、多角的な知見、知識をお持ちで地域の事情に精通している方を考えている。公認会計士は1名、市職員及びそのほか市長が必要と認める者は併せて2名を予定している。

●職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部改正

Q 育児休業を取得している職員もいると思うが、この条例を改正することによって、どの程度、職員が利用すると見込んでいるか。

A 現行の部分休業は、取得者の多くが保育所等への朝夕の送迎などのために、勤務時間の始めまたは終わりで合わせて1日2時間程度取得している。改正後は、勤務時間の始めまたは終わりに限らず、勤務時間中において、2時間を限度にどの時間でも取得可能となる。また、新たに、選択制で年間10日間分の取得が可能となることから、子どもが成長するなどし、毎日取得する必要がある場合には、特別休暇と組み合わせて使用できるようにするなど、使用の幅が広がる。ただし、給与が減額となるため、有給休暇の取得を推奨

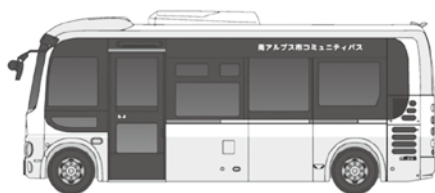
するとともにこの制度を周知し、意向確認も行っていく。

厚生文教常任委員会

●地域公共交通会議条例の一部改正

Q 追加される運転者が組織する団体とは、具体的にどういった団体か。

A 運行を委託している山梨交通の労働組合である。



コミュニティバス

●学校の働き方改革・長時間労働是正の実現のための教職員定数改善と「カリキュラム・オーバーロード」の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

Q 教員の働き方改革について具体的にどのような取り組みを行う

か、また学習指導要領の精査とどのように関連づけるか。

A 教員の業務を整理しワークライフバランスを充実させることで、教材研究や子どもと向き合う時間を確保し、学習指導要領を精査・是正して内容を厳選することで、働き方改革と連動させ、子どもの豊かな学びにつなげたい。

産業土木常任委員会

●財産の取得

Q 下今諏訪A工業団地拡張整備事業用地における今後取得予定の5件17筆については、完熟農園の縁辺部のように、用地の一部取得後に交渉することであるが、相続手続き完了後の取得の見通しは。

A 今回の提出議案に間に合わなかったが、関係者から協力承諾を得ており、計画は順調に進んでいる。

審査結果

各常任委員会に付託された議案については、慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。また、請願については、異議なく採択すべきものと決定しました。

予算決算特別委員会 レポート

予算決算特別委員会を設置し、本委員会に付託された、補正予算決算および関係議案について審査しました。

特別委員会の中に3つの分科会（総務、厚生文教、産業土木）を設けて、付託された議案をそれぞれ分担し、審査しました。

質疑の一部を掲載しています

一般会計補正予算（第2号）

総務分科会

財政調整基金積立金

この時期に積み立てる理由は。

9月補正の予算編成において、歳入の方が大きくなり、財源に

余剰が出たためであり、今後の補正予算及び当初予算の編成に必要な財源として活用していく。

●南アルプス市周辺整備事業

造成設計業務委託の事業者の選定方法は。また、南アルプス市周辺中央エリアにおける雨水等の

対策は。

業務委託先の選定は、一般競争入札を予定している。ゲリラ豪雨、集中豪雨等に対する水処理の問題

については、今回の設計の中で、調整池の設置も検討していく。さらに、ボーリング調査を実施し、地下水の水位状況を確認するなどし、対策を練っていく。

厚生文教分科会

●南アルプス市高度農業情報センター改修事業

エアコンをリースする理由は。

既存エアコンは、ビルマルチ方式で部品がなく修理不可のため、新年度に改修工事を計上する予定である。その間の空調確保のため、仮設的にリースを利用する。

産業土木分科会

●すもも産地競争力強化支援事業

すももの高品質化とは具体的に何か。

J Aが果樹産地構造改革計画において振興品種としている貴陽、太陽、皇寿等の優良品種への改植事業である。

●優良住宅普及促進事業

若者世帯定住支援奨励金事業や子育て世帯住宅取得支援事業等の制度と、併用は可能か。

併用は可能である。

一般会計歳入歳出決算の認定

総務分科会

●奨学金返還支援事業

執行率が低い、移住者全員に周知できているか。

広報や自治会の組回覧で周知した。今後は、二十歳のつどいや企業ガイダンス等で、周知していく。

厚生文教分科会

●消費生活研究事業

消費生活相談員不在による市民の不便や今後の配置予定は。

窓口対応ができず不便な状況であり募集しているが応募がないため、県内にいる相談員の出向体制を関係機関と検討していく。

●教育施設建築工事等発注者支援事業

優れた設計者を選定しているにもかかわらず外部委託するのは二重であり、その必要性はあったか。

公共工事の品質確保や課題対応のため一級建築士に委託し、職員

の不足や専門的助言を得る目的で実施してきた。令和7年度は二級建築士資格を持つ職員採用により予算を減額して対応している。

産業土木分科会

●多面的機能支払交付金事業

保全委員会から市へ事業報告書が提出された際、市職員は書類審査や現地検査を行っているか。

職員が必ず書類審査を行い、年1回以上保全委員会役員を招いて、指導等を実施している。現地検査は保全委員会の自主検査後に市職員が直接検査を実施している。

審査結果

予算決算特別委員会に付託された議案については、慎重に審査した結果、原案のとおり可決および認定すべきものと決定しました。

ふるさと応援基金の運用に関する提案をしました

厚生文教分科会において、ふるさと応援基金繰入金についての意見がありました。この意見について、全ての審査終了後に予算決算特別委員会全委員で話し合いを行い、ふるさと応援基金の有効的な活用を図るため、基金の充当基準を明確にすること、次年度予算編成における基金の活用や意識のあり方を求めることを提案することとしました。この提案は、予算決算特別委員会委員長から議長へ提出し、議長から市長へ伝えられました。

討議の焦点



女性消防団員の入団に対して市の見解は

- ▶ 女性が安心して活動できる「組織体制」や「環境整備」に取り組んでいく。



未来創政の会

秋山 浩志 議員

ドッグランの整備に対して市の見解は

- ▶ 現時点での整備は難しい。
整備の可能性について調査研究が必要である。



消防団の消防車

消防団員の確保

Q 消防団員の被雇用者の割合が増加しており、特定の時間帯の防災力低下が懸念される。このことについて市の見解は。

A 本市消防団員の80%以上が被雇用団員であり、平日昼間の防災力低下を懸念している。

「機能別消防団員制度」も、防災力向上の一助となっている。

Q 消防団員確保は消防団活動への理解不足・イメージの問題がある。市はこれらのマイナスイメージ払拭についてどのように考えているか。

A 「SNS」や「市広報紙」を活用した情報発信、また「出初式」や「支部演習」を市民の皆様に見学していただくと共に、更なる団員の

負担軽減や環境整備に取り組んでいく。

Q 消防団に女性の入団を促進するため環境を整えることが不可欠と考える。女性団員入団に対して市はどのような見解を持っているか。

A 女性消防団員の活動の場として、火災現場等での災害対応ではなく、後方支援や広報活動を主に行う体制づくりも必要と考えている。

今後、女性が安心して入団し、活動できる「組織体制」や「環境整備」に取り組んでいく。

熱中症対策

Q 市として、消防団に対しどのような熱中症対策を行っているか。

A 「消防団員の安全管理等の再徹底」に基づき、周知徹底を呼び掛けていくところである。

Q 消防本部として、職員にどのような熱中症対策を行っているか。

A 労働安全衛生法施行規則の改正により、熱中症対策の義務化が定められたことを受け、南アルプス消防署および八田消防署では熱中症対策の内規を作成し、各種

対策を実施している。

Q 現在、市として、学校でどのような熱中症対策をされているか。

A 本市では、国のガイドラインなどをもとに、「熱中症ガイドライン」を策定し各学校において様々な熱中症対策を実施している。

ドッグラン整備

Q ドッグランを整備することで人と犬とが共存し、にぎわいと楽しさのある公園づくりを実現することになると思うが、市の見解は。

A 管理運営において多くの課題が想定されるので、現時点での整備は難しいと考えている。

優秀な人材確保のための市職員の賃金・労働条件・職場環境改善

Q 市が組織の魅力を高め、働く上でのメリットを具体的に示すことが優秀な人材確保に重要だと考えるが市の見解は。

A ワークライフバランスの推進や多様な働き方の導入、業務の効率化など、制度面・職場環境面の両面から改善を進め、優秀な人材の確保に努めていく。



市政のここを聞く！

代表質問の映像をご視聴いただけます。

討議の焦点



抜本的な熱中症対策 体育館へのエアコンの設置を

▶ 3、4年の整備期間を想定し、
現在整備計画を策定している。

小中学校トイレの洋式化や暖房便座導入 など機能向上を

▶ 洋式化率は現在67%。
トイレ環境のさらなる改善に取り組んでいく。



日本共産党南アルプス市議団

松野 昇平 議員

体育館へのエアコンの設置

Q 令和6年第4回定例会での質問で、市からは「早い段階でのエアコンの設置を検討していきたい。」という答弁があったが、その後の進捗状況は。

A 近年、異常な暑さにより学校教育活動への影響が懸念されている。

このような状況は、今後毎年続いていくものと考えられ、屋内運動場への空調整備については、喫緊の課題であると認識している。

本市では、児童生徒が安全で快適に学べる環境を確保するため、昨年度から整備に向けた方向性を検討し、整備方針の素案を取りまとめているところである。

現状は、国の方針や専門的知見、他の自治体の事例なども参考にしながら、空調方式や事業手法、財源の確保

学校体育館のエアコン設置例



学校体育館のエアコン設置例

等について検討を重ね、事業実施計画の策定を進めている。

児童生徒や学校開放利用者の健康と安全を第一に考え、可能な限り早期に整備できるよう取り組んでいく。

学校におけるトイレの洋式化と機能向上

Q 衛生面の向上や利用のしやすさだけでなく、児童・生徒の心理的な安心感を高めるためにも、学校におけるトイレの洋式化と機能向上を進めていくべきと考えるが、市の所見は。

A 学校におけるトイレ環境は、児童生徒が学習に集中し、安心して学校生活を送るための大切な要素であると認識している。

特に洋式化の推進は、衛生面や利便性の向上のみならず、家庭環境の変化により和式トイレを使用したことのない児童生徒が増加していることから、心理的な安心感に配慮した快適な環境とするうえで重要である。

本市ではこれまでも、学校の要望を聞き取る中で洋式化や暖房便座導入を進めてきた。

今後学校施設の長寿命化計画に基づき、段階的に洋式化を推進するとともに、換気や照明の改善なども含め機能向上に取り組んでいく。

AED（自動体外式除細動器）

Q AEDの設置から使用、維持管理まで一貫した救命力の向上のための取り組みについて、市の所見は。

A 本市では、市民の安全・安心を確保するため、公共施設や人が多く集まる場所にAEDを設置しており、各施設において、日常点検や消耗品交換などの維持管理を実施している。

全国的に、心肺機能停止の約7割は住宅で発生しており、救急車の到着まで全国平均で約10分、本市では約8分を要している。到着までの間に、市民による胸骨圧迫やAEDの使用といった応急手当が行われることにより、救命効果は大きく向上する。そのため、本市消防本部ではAEDの操作を含む救命講習を積極的に実施しており、今後も受講機会の拡大と普及啓発に努めていく。

さらに、AEDの設置から維持管理、市民による活用まで一貫した体制を整えることで、救命率の向上を目指していく。

●その他の質問

・狭い道路や交差点の改良について
・道路や歩道における草木の管理について

討議の焦点



南アルプス IC 周辺エリアの「まちの玄関口」としての整備事業の進捗状況は

▶「未来をつくる産業振興」の実現に向け、最重要プロジェクトとし、次世代に繋ぐまちづくりのために推進している。



新政南アルプス
村松 三千雄 議員

南アルプス IC 周辺エリアの開発

Q 「ヒカレヤマナシ」及び「コストコホールセール南アルプス倉庫店」のオープンにより、地域住民の生活への影響、経済効果と周辺店舗への影響等は。

A fumotto南アルプスは、新たな「集客交流拠点」として、本市の玄関口に賑わいと活力を生み出している。

懸念された交通渋滞についても、大きな混乱もなかったが、地区内道路への進入が一部に見受けられるため引き続き必要な対策を講じること地域での安全を確保していく。

参加企業2社の相乗効果により、交流人口の大幅な増加を促し、雇用の創出や所得の向上、土地価格の上昇、更には IC 周辺整備事業に対する企業の関心の高まりなど、本市の経済発展と将来性の広がり大きく貢献している。加えて、周辺施設にも足を運ぶことで、地域全体へ好循環が波及しつつある。今後は、新たな観光戦略や IC 周辺整備事業の推進を図り、「道の駅」への登録に向け取り組みを着実に進めていく。

Q 南アルプス IC 周辺整備事業の進捗状況と今後の進め方は。

A IC 周辺整備事業は、「未来をつくる産業振興」の実現と市民の期待に応える重要プロジェクトとして、「まちの玄関口」にふさわしい都市機能を創出し、地域の魅力を高め、次世代に繋ぐまちづくりを全力で推進している。

中核となる中央エリアは、地権者の皆様にプロジェクトの趣旨をご理解いただき、覚書の締結に至った。

今後は、まちづくりのパートナーとなる優良企業の誘致に取り組んでいく。

東部・西部エリアについては、「地域未来投資促進法に基づく重点促進区域」の指定に向けて、山梨県と協議を進めている。引き続き、庁内プロジェクトチームを中心に、全庁体制で取り組んでいく。

Q 将来を見据えた交通拠点整備のロードマップを示す必要があると思うが。

A 本市の交通環境のあり方については、既存の公共交通の拠点である「市立美術館」や「道の駅しらね」などの観光拠点との

連携を図り、市全体を見渡す広い観点から進め、交通ハブ拠点の機能を位置付けていく。

まずは、「fumotto南アルプス」の「交通ハブ拠点」の整備を進め、市内外のニーズや効果を検証し、IC 周辺の将来的な交通機能を踏まえ、本市の「集客交流拠点」として一層の強化を図っていく。



南アルプス IC 周辺エリア



討議の焦点



高齢化が進む中、温暖化の影響を 考慮した高齢者福祉の在り方は

▶ 高齢者への声掛けや見守りの徹底と生活への影響について把握に努め施策へ反映する。

市民農園を各地区に展開し遊休農地解消 につなげる取り組みを推進すべき

▶ 既存の市民農園2か所（百々、湯沢）の利用を促進し、他地域への展開について調査研究を行う。



躍進会

相川 宗仁 議員

地球温暖化に伴う 高齢者福祉対策

Q 近年、気温上昇に伴う猛暑日や熱帯夜の増加、線状降水帯の発生による大雨の被害など市民の健康・生活・経済社会基盤に及ぼり

スクが高まっている。本市も、高齢化が進む中、温暖化の影響を考慮した高齢者福祉の在り方について、本市の見解は。

A 近年の地球規模の気候変動が、生態系や経済活動に与える影響については、第3次総合計画においても懸念している。

山梨県も「熱中症予防対策強化期間」を設け、熱中症予防の啓発強化と併せ、クーリングシェルトーや、地域の公民館等の開放など、「涼み所」の提供を推進している。引き続き、高齢者への声掛けや見守りを徹底しながら、温暖化による高齢者の生活への影響について把握に努め、高齢者福祉施策への反映を図る。

遊休農地の解消の取り組みと 市民参加型農業の推進

Q 遊休農地の増加が進み、農地の荒廃や害虫の発生の要因となり、観光を目指す本市としても景観の悪化が懸念されている。

遊休農地解消に向けて、昨年6月にJA南アルプス市が立ち上げた農業法人「株式会社あぐりファームJA南アルプス市」の取り組み状況と農地中間管理機構の貸借の現在の状況は。

A あぐりファームJA南アルプス市は、令和6年度は約1・2ヘクタールの農地を借り受け、モモ、ブドウ、キュウリを生産し、約3・2ヘクタールの遊休農地において管理作業が実施された。令和7年度は新たに38アールの遊休農地を借り受け、ブドウの植付けを行うとのことである。

また、農地中間管理機構による農地の貸借については、令和6年度は267筆、約18ヘクタールの農地において、貸借の手続きがされ、なお、令和7年3月以降、7月末までの貸借の状況は、144筆、約9ヘクタールとなっており、前年の同じ期間と比較して81筆、約3ヘクタールの増加となっている。

Q 市民農園による遊休農地解消などの取り組みについて、食料価格の高騰や地産地消の重要性が増す中、野菜の自家栽培や市民農園への関心が高まっている。

そこで、本市が遊休農地を整備・区

画化し市民に野菜栽培用として貸し出す「市民農園」を各地区において展開できるように提案するが、本市の見解は。

A 平成6年3月から百々地区に「汗かき農園」を開園し、非農業者が農作物を栽培することを通じて、土と親しみ、作物を作る喜びを実感しながら、農業に対する理解を深めることができるかと高評価である。

既存の「汗かき農園」及び「クラインガルテン湯沢エリア」内にある区画の利用を促進し、そのうえで、他地域での展開について調査、研究を行っていく。



百々地区の「汗かき農園」

討議の焦点



小中学校における、児童・生徒への 平和教育の現状は

▶小学校では、社会科や総合学習の時間を活用し、
中学校では、社会科の歴史学習を通して、広く
平和について理解を深めている。



公明党
小池 伸吾 議員

平和教育

Q 小中学校における、児童・生徒への平和教育の現状は。

A 小中学校における平和教育は、教室での知識習得にとどまらず、実際に史跡見学や体験学習を通じて、過去を知り、未来の平和について主体的に考える力を育むことを目的としている。

小学校では、社会科や総合学習の時間を活用し、地域の戦争遺跡「ロタコ」について市の職員を講師に学習を行っている学校もある。また、戦争体験者の講話を聞いたり、甲府空襲展を見学する学校もあり、地域の歴史や戦争について理解を深めている。

中学校では、社会科の歴史学習を通して、人間の歩みを学びながら、広く平和について理解を深めている。また、いくつかの学校では広島への修学旅行を実施し、事前学習や当日の見学、被爆体験者の講話を通して、戦争の悲惨さと平和の尊さを学んでいる。更に、平和をテーマにした合唱や、絵画制作など、多様な平和学習に取り組んでいる学校もある。

Q 市民向けの平和教育の取り組みは。

A 本市ではこれまで、文化財課を中心に市内の戦争に関わる

講座や、戦争遺跡を中心とした史跡めぐりを継続的に実施してきた。

ふるさと文化伝承館においても、戦争をテーマとした企画展を定期的に行っており、今年度も戦後80年の特別企画として、子どもたちと戦争の関わりに焦点をあてた展示「ぼこんとうとせんそう」を開催した。

今後も、再び戦争の悲劇が繰り返されることのないよう、より多くの市民に参加を呼び掛け、平和の大切さを次の世代に伝える取り組みを継続して実施していく。



ふるさと文化伝承館で開催された企画展のようす

継続して実施していく。

Q 本市には、戦時中の貴重な文化財等が保存されているが、今後、活用した取り組みについての考えは。

A 本市では、市内をひとつの博物館にみだてた「ふるさと○博物館推進事業」に取り組んでおり、この中で地域の歴史的資源の掘り起しを行っている。

収集された歴史的資源には、戦争に関するものも数多く含まれており、その内容は、「軍服」や「日章旗の寄せ書き」といった、形あるモノだけでなく、戦争を体験した方々の証言など多岐にわたる。

これらは、現在デジタルアーカイブに蓄積され、インターネットを通じて、いつでも、誰でも触られるようになっており、市内の小中学生が使用しているタブレット端末からも容易にアクセスできるようにになっている。

●その他の質問

・移住定住促進について



市政のここを聞く！

一般質問の映像をご視聴いただけます。

質問の主題



保育所で寝具を用意し、 布団持ち帰りの 負担軽減を



日本共産党南アルプス市議団
河阪 悠 議員

A 保育所の布団の持ち帰りにつ
いては、衛生管理の観点から
必要であると考えているが、お子様
の送迎時に手荷物が増え、保護者の
負担になっているとの意見もある。
これまで、公立保育所では、保護者

Q 保育所の昼寝用の布団の持ち
帰りは、複数の子どもを通わ
せる世帯や持ち帰る荷物が多い時な
ど保護者にとって負担になっている。
保育所で寝具を用意し、布団の持ち
帰りの負担を無くすべきと考えるが、
市の所見は。

保育所の寝具

負担軽減のため簡易ベッドの導入を
検討したが、導入に際し、保育士の
動線が制限され、児童の睡眠中の呼
吸確認や災害時の安全確保が困難に
なること、簡易ベッドの保管場所が
ない等の課題が確認された。また、
日常的に使用する布団や、シーツ、
カバーなどの寝具は、利用されるご
家庭で用意してもらうことが基本で
あり、保育所に寝具を常備した場合
は、新たにクリーニング代やレンタ
ル料を利用者に負担していただくこ
とになる。市としては、これら課題
を踏まえ、現状では導入が難しいも



簡易ベッドの例

の
と
考
え
て
い
る。

質問の主題



参入企業は募集要項 に基づいて事業実施 しているか



かがやき 21
小林 敏徳 議員

A f u m o t t o 南アルプスの「地
域交流エリア」においては、山
梨県内や市内の企業が連携して法人を
設立し、目的に掲げた地域資源を活用
した事業を展開している。

Q 南アルプス12ヘクタール整備事
業募集案内の中の「土地利用の
あり方」の「12ヘクタールの目的」に、
地域の資源を活用し、多様な事業を展
開する。とあるが、f u m o t t o 南
アルプスのオープンから1年2か月が
経過した今、どのような取り組みが行
われているか。

新産業拠点（旧完熟農園の跡地）

Q 募集案内の中で、「集客、交流
の機能を持つ新たな産業拠点」
を創出し、企業と地域のブランド化と
ともに地域活性化を実現したい。とあ
るが、今まで新たな産業拠点を創出し、
企業と地域ブランド化をどのように創
出されているか。



新産業拠点周辺

各種イベントの開催など、地域との連
携を図ることで、新たな価値を生み出
している。

Q 参入企業を対象に支援メニ
ューの「地代軽減措置」を行った。
その内容は、(a)借地期間開始後1年間
は、事業用地の賃借料を免除、(b)2年
目以降の1年間は賃借料の80%を軽減
する。となっている。現在の賃借料は
いくらか。

A 本土地の賃借料は、年額、51
5万7200円である。

●その他の質問
・広河原山荘について

質問の主題



こどもの権利を
明確に保障する
条例の制定を！



新政南アルプス
藤田 亜由未 議員

A 「こどもまんなか、夢や希望が描けるまち」の実現に向けて、市民と協働して進めていくことが大切。今後はこども本人や市民、保護者、関係団体に意見を幅広く伺う中で、策定を進めていく。

Q 本市では、「こども自身の権利」を明確に保障する条例は策定されていない。本市においても、「こどもの権利」を保障するための条例を制定すべきと考えるが、市の考えは。

子ども権利・居場所

Q 改修中の甲西農村環境改善センター内の教育支援センターWingの再開に併せ、「こどもの居場所」としてのセンターの運営方針策定を

A 先進事例を実際に訪問・見学し、運営方法、効果や課題等について調査を進めている。今後は、児童生徒への支援体制の一層の充実を図る観点から、校内教育支援センターの設置を検討する。

Q 不登校や行き渋り等の児童生徒をサポートする「校内フリースペース」を学校内に設置する必要があると考えるが、市の考えは。

A 議会でも提言したがその後の進捗は。現状の「居場所」としての役割を含め、センターでの総合的な支援体制のあり方や運営方針についても、情報収集と内容の検討を進める。



改修工事前の教育支援センター

質問の主題



自立と共生社会の
実現を目指して



新政南アルプス
清水 麻里 議員

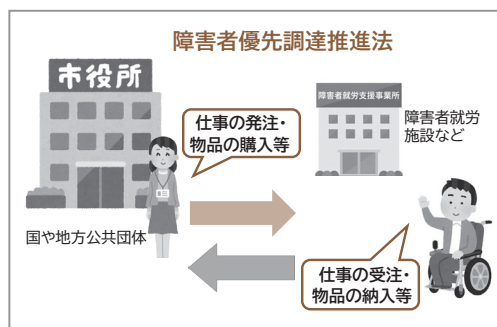
Q 今後どのように調達率を上げていくのか。

A 障害者就労施設に対し、印刷用紙などの物品や公共施設の清掃業務、封筒の封入及び封緘業務等の役務を発注しており、令和5年度の優先調達率は150万8017円である。

Q 物品やサービスを調達する際、障害者就労施設等から優先的に調達する事を努めるよう、障害者優先調達推進法が定められている。市の取り組み状況は。

就労支援の強化

A 昨年度実態把握のため、市の障害者自立支援協議会が庁内各部署及び市内の障害者就労施設に対しアンケート調査を実施した。現在、結果を分析しており、就労施設ごとの提供可能な物品及び役務についての情報を整理し、冊子を作成している。今後この冊子を庁内各課に配布し、さらなる周知を行い、調達額及び発注分野の拡大促進に取り組んでいく。



Q 教育現場等でも積極的に優先調達をしていく必要があるのではないかと。

A 障がいを持っている方や障がい自体を正しく理解する事で、共生社会の実現が促進されると認識しており、特に次代を担う子どもたちに正しい理解を導くことは大変重要である。全庁的に積極的な優先調達を調整していく。



市政のここを聞く！

一般質問の映像をご視聴いただけます。

質問の主題



誰もが気軽に外出
できる公共交通を
求めて！



新政南アルプス
三木 充 議員

質問の主題



防災力で築く
安全な街



新政南アルプス
保坂 健 議員

Q 本年6月の地域公共交通会議において、本市でデマンド交通の実証運行を提案したと聞くがその内容は。

A 白根地区内における交通空白地域を中心に、新たな交通手段としてデマンド交通の実証実験に取り組みをご了承いただいた。デマンド交通は、利用者の予約に応じて運行する乗り合い型の交通サービスである。決まった時刻表や路線はなく、事前の申込みに合わせて車両が乗車停留所へ行き、目的地の停

デマンド交通の導入

Q 防犯対策について、市として防犯カメラのネットワーク化やリース化による一元管理の推進、警察との連携強化など、総合的な防犯対策を講じる必要があると考えるが、市の所見は。

A 本市では、防犯灯の設置補助、街頭防犯カメラの設置、地域の自主防犯活動への協力など、行政・警察・地域が一体となった活動を進めてきた。

提案の防犯カメラのネットワーク化やリース化による一元管理は、犯罪抑

安全・安心なまちづくり

Q コミュニティバスの運行と、タクシーの配布事業のデマンド型交通導入後の扱いは。

A デマンド型交通の実証実験を実施する期間については、コミュニティバスの運行及びタクシーの配布事業は、現状のまま実施する。

また、市内にデマンド交通を本格導入する場合は、実証実験の結果を踏まえ、コミュニティバスの運行及びタクシーの配布事業については、地域公共交通の効率的な運用となるよう総合的に検討していく。

留所へ向かうものである。



市が設置している防犯カメラ

止や事件の迅速な解決に有効な手段と認識しており、個人情報保護や費用対

効果の観点も踏まえ、南アルプス警察署と連携しながら調査・研究を進めていく。

Q 防犯灯について、本市の防犯灯の設置状況をどのように捉えているか。

A 本市では、住宅地や通学路などの生活道路を中心に、防犯灯の計画的な設置及び老朽化した防犯灯のLED化に取り組んできた。

令和7年8月現在、市内には9630基の防犯灯が設置されており、主要な生活道路の多くは、必要な明るさを確保している状況である。



質問の主題



妊産婦の 移動手段の 支援策について



躍進会
吉松 大樹 議員

Q 具体的な政策として、「マタニティ&子育てタクシーサポーター事業」の創設を提言する。すでに実績のある高齢者・障がい者向けタクシー助成制度を応用することで、スムーズに導入可能と考えるが、市の見解は。

A 市内に分娩を取り扱う医療機関が存在しないことは、本市の重要な課題である。

周産期医療体制の維持・充実に向けて県や関係機関と連携しながら、妊産婦の方々が安心して出産・育児ができる環境整備に取り組む必要がある。

妊産婦の移動手段支援策

Q 市民が出産に際して必ず市外の医療機関に頼らざるを得ないという構造的な課題について、市の認識は。

A まつりは歴史文化を中心としたまつりと地域活性化効果を期待するまつりに大別される。南アルプス市内各地で開催されているまつりの効果についての認識、歴史文化に基づくまつりの把握と位置づけと支援、地域活性化を主眼としたまつりの基本的な考えは。

質問の主題



市内のまつりを 知ることは 市を知ること



新政南アルプス
飯野 久 議員

Q まつりは歴史文化を中心としたまつりと地域活性化効果を期待するまつりに大別される。南アルプス市内各地で開催されているまつりの効果についての認識、歴史文化に基づくまつりの把握と位置づけと支援、地域活性化を主眼としたまつりの基本的な考えは。

A まつりは、地域住民の交流や連帯感を高める。地域の歴史や文化を継承し郷土愛が醸成する。魅力発信や観光振興、更に地域コミュニティの強化となる。

まつり

まつりが持つ文化の伝承と地域活性化を期待し持続的な開催を支援していく。

歴史文化を正しく理解することは、歴史的個性を知ることになる。「まつり」の歴史的背景や意義などを明らかにし、伝承、活性化を支援する。



南アルプス山麓フェスティバルのようす

市民参加型のまつりは、地域の一体感の醸成、交流人口や関係人口の増加、地域の活性化、観光振興、ブランド力向上につながると考え、市民や来訪者に魅力あるまつりの発展を推進する。

●主な再質問の内容

- ・理想的なまつりとは
- ・十日市の位置づけ
- ・補助金交付基準
- ・まつり補助金の公平性
- ・山麓フェスティバルの効果
- ・若者世代の考え方の反映
- ・南アルプス市らしいまつり
- ・まつりと市民力

ト事業」の創設を提言する。すでに実績のある高齢者・障がい者向けタクシー助成制度を応用することで、スムーズに導入可能と考えるが、市の見解は。

A ご提案の制度については、既存の枠組みを利用することで速やかな導入が可能であり、実効性のある提案と受け止めている。

一方で、財源の確保や、タクシー事業者との連携方法など検討を要する課題がある。

ご提案の趣旨を踏まえ、先行事例や利用者のニーズ等を調査するとともに、既存の移動支援制度との一体的な運用可能性についても検討を進めていく。

●その他の質問

- ・関係人口の創出・拡大に向けたふるさと住民登録制度について





市政のここを聞く！

一般質問の映像をご視聴いただけます。

質問の主題



支援記録の 課題改善を F-SOAIP で



公明党
齊藤 博明 議員

Q 厚生労働省が進めてきた包括的支援体制推進の先駆的自治体では、多様化、複雑化する各家庭の諸課題に対し、個々人に丁寧に向き合う時間を創出するための検討を重ねてきた。

そのために各自治体では、支援記録作成時間を短縮させ、かつ簡潔明瞭に実践を見える化する意味から、「F-SOAIP」(エフ・ソ・アイピー)という生活支援記録法を導入している。本市でも導入への検討を提案す

地域包括支援体制における 記録業務の課題克服に向けて

Q

厚生労働省が進めてきた包括的支援体制推進の先駆的自治体では、多様化、複雑化する各家庭の諸課題に対し、個々人に丁寧に

A

生活支援記録法の一つ、「エフ・ソ・アイピー」は、理論的考察に基づき、簡単明瞭に相談者の状況を可視化できる、大変有効な手法として認識した。記録時間の短縮や、支援チーム内での情報共有の円滑化に有効であると考えている。これにより、支援の質の向上や、相談者及びその家族のより良い暮らしの実現が期待できる。

今後は、本手法を含め、生活支援記録方法の研究を進めるとともに、DX化の推進や管理業務効率化に関するが、見解は。

「F-SOAIP」の6つの要素

- F (Focus): 焦点 (記録のタイトル)
- S (Subjective Data): 主観的情報 (本人や家族の言葉)
- O (Objective Data): 客観的情報 (観察や他職種からの情報)
- A (Assessment): アセスメント (支援者の判断や解釈)
- I (Intervention/Implementation): 介入・実施 (実際に行った支援)
- P (Plan): 計画 (今後の対応)

る職員研修についても検討していく。引き続き、管理業務の負担軽減、情報共有や意思疎通の円滑化、支援時間の創出を図り、市民の福祉と健康増進の一層の向上に努めていく。

質問の主題



ロタコ遺跡と 民間建立慰霊碑 について



躍進会
保坂 広人 議員

Q 戦争の遺跡として、80年が経過する中で、戦争遺跡「ロタコ」のあり方についての本市の見解は。

A 「ロタコ」は、暗号名とされ、立川にあった軍施設を疎開させるための秘匿飛行場であった。全国的にも有数の規模を誇る滑走路や、飛行機を隠し、爆風から守る施設である掩体壕(えんたいごう)などが造られた。その構築には、市全域から一日3千人もの人々が動員された。

「ロタコ」は、当時の南アルプス市に生きた人々の戦争に関わる「共通の

ロタコ遺跡の在り方



ロタコ(3号掩体壕)

記憶」という重要な意味をもち、本市における先の大戦を象徴する遺跡である。

民間慰霊碑調査

Q

国は、民間建立の戦没者慰霊碑1万6千基について、全国調査を実施。劣化が進んでいると想定されているが、本市の状況は。

A

市内には、全51基。民間建立は、32基ある。管理は、旧町村が建立した17基、建立者不明の2基を含む全51基を、遺族会や自治会などが清掃、草取り、植木の手入れを行っている。建立時期は、大正時代から昭和20年代にかけて建立されている。慰霊碑の状況は概ね良好である。

政務活動報告

南アルプス市をよりよい社会にするために

●躍進会

参加者

代表：三枝 守和
吉松 大樹、飯久保 貴、相川 宗仁、
保坂 広人

研修日 令和7年8月27日(水)～8月28日(木)

研修先 全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌

研修内容

地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて

■基調講演

「主権を預かる誇りと責任」

伊吹 文明 元衆議院議員議長

■パネルディスカッション

①多様な人材の参画促進の観点から 地方議会議員の
なり手不足問題を考える

②地方議会議員のなり手不足問題の取組報告

総括

基調講演では、地方議員は住民の主権を預かる存在であり、その誇りと責任の重要性が強調された。なり手不足の背景には、議員報酬や引退後の生活保障といった待遇面の問題等、多くの要因が絡み合い、深刻な状況になっていることが浮き彫りになった。

パネルディスカッションでは多様な人材が参画できるよう、議員の厚生年金加入などの処遇改善や、オンライン会議の活用といった活動しやすい環境整備が不可欠と感じた。



●新政南アルプス

参加者

代表：飯野 久
清水 麻里、藤田 亜由未、保坂 健、
三木 充、花輪 幸長、村松 三千雄

研修日 令和7年8月26日(火)～28日(木)

研修先及び研修内容

(1) ㈱ FIRST LEAP

「ふるさと納税支援策等について」

(2) 旧北海道庁

「北海道の歴史と道内市町村別特産物等の見学」

(3) 全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌

「地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて」

総括

㈱ FIRST LEAP での研修では、「ふるさと納税」をいかに多く獲得するか業務に多様な仕組みが要求されることを理解した。本市ではこれまで、中間業者を活用してふるさと納税金額は順調に伸びているが、さらに伸ばすためには研修先のような企業を利用することも一考と思う。

旧北海道庁では、北海道の歴史文化、アイヌ文化、北方領土の学びさらに道内市町村の特産品や魅力等について見学した。特に道内市町村紹介は理解しやすかった。

全国市議会議長会研究フォーラムでは、「地方議員のなり手不足問題を考える」内容でパネルディスカッションや取り組み事例発表があり、第6期本市議会が取り組んだ議会改革に類似した事例もあり、これまでの取り組みを再認識した。また、課題や問題点の共通意識を持つことはできたが、どこから解決の糸口を掴んだらよいかを考えると、まず議会の見える化による議会活動の市民理解が先決であると再認識させられた。



市民との意見交換会を開催

市議会では、市民の皆さまの声を直接お聞きし、市政に反映させるため、市民との意見交換会を開催しています。今回は、3つの常任委員会ごとにそれぞれ所管する内容のテーマを設け、市民の皆さまと意見交換を行いました。参加された市民の皆さまからは、多くの貴重なご意見をいただくことができました。

総務常任委員会

テーマ 地域防災を推進するための課題について

参加者 南アルプス市防災リーダー連絡協議会委員

意見交換内容

- 1 地域防災への意識向上のための市民の理解について／地域防災への関心度が薄い。
防災訓練は、実践的な内容や参加しやすい環境を整えるなど魅力的な内容にし、住民の理解を高めることが重要である。
- 2 地域防災力向上のための自治会役員と防災リーダーとの連携について／自治会と防災組織の連携は必要であるが、多くの自治会は地域防災活動の効率化や担い手不足等により、自治会役員が自主防災会役員を兼ねている。
「地区防災計画」作成については、役員の任期や役員個々の取り組み意識によって検討が進まないのが実態である。
- 3 地域の実情に合わせた備蓄、避難所、資金等について／自主防災組織運営支援事業交付金及び防災資機材整備事業補助金の見直しについて、議会でも調査し、市に改善の要請をしていただきたい。

総 括 地域防災の中核を担う存在として活動している方々の抱えている課題を聞くことができた。
今回いただいた課題・要望等は、議会としてできることは支援するとともに、市担当課に支援の拡大や改善策を求め、自主防災活動の強化に繋がるようにしていきたい。



厚生文教常任委員会

テーマ 南アルプス市の子育て支援政策や保育について

参加者 市内保育所に子どもを通わせている保護者

意見交換内容

市の子育て施策について、18才までの医療費の無償化、保育料の無償化、小中学生の給食費の無償化など、とてもありがたいとの意見が多かったが、アピールの面においては、不足しているとの意見が多かった。

保育所(園)の入所について、家庭状況の確認はしっかり実施すべきだとの意見もあった。

保育所関連では、同じ市立の園であっても、それぞれの個性があっていいのではないかと。市立保育所では、コロナ禍前のように、事業が戻らないが、私立の園では、保護者会が主催者となり、事業をこなしている園もある等々、色々な意見が出て、市に対しての要望も幾つかあり、当局に要望として上げた。

市は様々な子育て施策に力を入れているが、他市との違いをもっとアピールする必要性を感じた。病児保育の件などの要望も聞いたので、更なる保育環境の向上・充実のための取り組みについて調査研究の必要性を当局に申し入れた。



産業土木常任委員会

テーマ 芦安地域の観光と魅力

参加者 芦安地区自治会、芦安温泉郷旅籠の会、芦安の将来を考える会、NPO 法人芦安ファンクラブ、芦安地区集落支援員、地域おこし協力隊、Uターン者

意見交換内容

芦安地域は夜叉神峠など通年観光資源も有するが、そのPR不足や整備の遅れが課題。

また、交通インフラが弱く、外国人観光客の誘致も活性化していない。観光施設や登山駐車場への案内看板等も不十分である。また、移住希望者に対しても住宅不足や団地入居条件の厳しさも障壁となっている。

総 括 観光と魅力向上のため、宿泊低価格プランの提供や専用観光バスの導入、山岳館での企画展や山岳館の利用規制緩和による魅力発信が提案された。また、災害発生時における来訪者の帰宅困難を想定した受け入れ体制の構築も必要であるとの声もあった。各参加者から出た意見等は、担当課に伝え、改善、見直し、新規事業に繋がるよう求めた。



議会による事務事業評価を実施

市議会では、議会基本条例に規定している議会としての責務を果たすとともに、市の更なる発展のため、市の行う事務事業について、市民目線に立ち、より多角的な視点で評価をしています。

今年度は、6月議会で常任委員会ごとに対象とする事務事業を選定し、6月議会終了後の閉会中に調査し、評価を行い、9月議会でその結果を報告しました。さらに、9月議会終了後に報告書を市長に提出し、今後の事務事業のさらなる改善を求めました。

●総務常任委員会 評価した事務事業：シティプロモーション事業

評価結果

シティプロモーション戦略の策定からの短期間で SNS 発信や市民参加型シティプロモーションに積極的に取り組んだことから、本事業を通して、交流人口の拡大や地域活性化に一定の成果が上がっており、市民や企業、他部署との連携を少しずつ拡大しながら、市民サービスの向上や地域の魅力発信に寄与していると評価する。

しかしながら、今後さらに発展させていくために、組織体制の強化、市民や企業を巻き込んだ実効性のある参加の仕組みづくり、多様な分野を含めた情報発信の実施、そして、費用対効果や成果の評価指標の明確化といった点を丁寧に分析し、改善に繋げてもらいたい。

さらに、観光・移住定住・産業・農産物・文化などを包括したシティプロモーションを構築し、持続的に取り組んでいくこと、また、全庁的な連携や市長直轄の推進部署の設置などについても、前向きに検討を進め、本市の魅力を多くの人たちに伝えるための重要度の高い事業に成長していくことを期待する。

●厚生文教常任委員会 評価した事務事業：国指定史跡「旧御勅使川堤防」整備事業

評価結果

事業対象である御勅使川旧堤防（石積出し・樹形堤防・将棋頭）の現地調査を実施し、担当課から説明を受け、課題や疑問点についても質疑応答を行い、その後委員間討議を経て評価結果をまとめた。

国指定史跡「旧御勅使川堤防」整備事業は大変貴重な歴史を有し、この地域を守って来た治水のための事業で、必要性は非常に高く、有効性においても、本市の財産として維持保存してゆく意味は大きいものがある。学校教育への利用・市民に向けての周知・啓発活動も評価でき、シティプロモーション等、多角的活用にも繋がると考えるが、市内外への発信には更なる工夫が求められる。

目標の成果としては、史跡の見せ方にも工夫が認められ、主に市内の小学校の児童を中心に本史跡の歴史・目的・役割など、歴史教育にも活用できている点も評価できる。本市にとって本史跡は財産であり、市内外に向け周知を徹底し、本市の魅力発信に繋がられるよう検討されたい。

●産業土木常任委員会 評価した事務事業：汗かき農園維持管理事業

評価結果

本事業は、非農業者を対象とした農園を開設し、栽培体験をとおして農業への理解を深めてもらうことと、遊休農地の有効活用を目指すものであり、新規就農への機会にも繋がる必要性の高い事業である。

また、市民が農業に触れる機会を創出できていることや、農作物栽培を通じての自給自足意識の育成や緑の景観の形成にも繋がり、既存農地の設備を有効に活用しており効率性も高い。

今後の方向性としては、事業を拡充していく必要があると判断した。

なお、次の課題に取り組み事業を拡充していくことを提言する。

①南部地区への増設。 ②利用者アンケートの実施。 ③トイレの洋式化。 ④非農業者への周知の拡充。

特 集

VOL. 2

南アルプス市 議会改革推進

全議員を対象に研修を行いました

議会の見つめ直し・進化に向かって～ファシリテーション&議員定数・報酬～

講師：取手市役所情報管理課長（元議会事務局次長） 岩崎 弘宣 氏

議論や合意形成に必要なファシリテーションについてと議会改革推進の重点取り組み事項である議員定数・報酬についての研修を行いました。

研修では、委員会運営の基本や議会機能を強化し進化させるための取り組みなどについて説明がありました。事前にしっかり調査し審議に臨むこと、議員個々の動きから議会全体の動きに変えること、日頃から市民等と情報交換を行い情報収集することが必要であるなど、議会の責務を再確認する機会となり、実りある研修となりました。





市民から ひ・と・こ・と

HITOKOTO from the Citizen



近藤 渉 さん
(地区／曲輪田)

果樹王国として発展を続ける南アルプス市ですが、丹精込めて育てた果実が収穫期を迎えた頃に発生する「食害」に苦しむ人々の姿が毎年繰り返されております。

近年では捕獲して山に返すことから、市街地でも配慮の元「銃殺」という過激な法律が整備されました。

けれど、それは発生した枝を剪定するに過ぎません。問題には根っこの部分が存在し、そこから枝葉が伸びます。今回の問題は「山に食料がない」ことが根っ子です。

私達は山との疎遠を改善し、動物たちが安心して暮らせる環境が必要です。市はユネスコエコパークに認定されており、憲章は動植物との共生です。銃殺や食料のない山に返すことを改め「山で暮らせる環境整備」が喫緊の課題と考えます。



中西 紀説 さん
(地区／在家塚)

私は2021年3月より在家塚で「体験型フリースクールみんなのおうち」を運営しています。現在、市内でも不登校の子どもたちが増加傾向にあります。子どもが大人になるための道は「公教育」という一本しかありません。私はここが最大の問題点であると考えています。学校以外の学びの場が周知され、子どもが自分に合った学びの場を選択できるようになること。「公教育」以外のもう一本の道が認められるようになること。それこそが豊かな社会と言えるのではないのでしょうか。そのために私は道創りをしているのですが、民間の力だけでは限界があります。是非、官民連携して道創りを進めていきたいと思っています。子どもたちが笑顔で生きやすい南アルプス市とするために。

市民から ひ・と・こ・と 募集中



市議会に対するご意見やご感想を
お気軽にお寄せください。



【提出先】

〒400-0395 南アルプス市小笠原 376
南アルプス市議会事務局 宛
メール：gikai@city.minami-alps.lg.jp
FAX：055-282-6459



編集後記

秋の気配を木々の色づきと赤トンボが飛ぶ姿から感じとっていたものだが、昨今の異常気象から何をもって秋の気配と言うのだろうか。

さて、その赤トンボだが、トンボとりに興じた折、よく竿の先に逆立ちをしていた姿が記憶にある。あれは何をしているのだろうかの問いに、説によれば体温調節しているとのことである。

では、人の逆立ちは。と検索してみると、本当かと疑いたくなるほど、その効果が数多く記されている。体内血液流改善、体幹強化、内臓位置正常化、ストレス軽減、脳の活性化、下半身老廃物排出等々、健康と美容、アンチエイジングに効果とある。試してみたいだろうか。

私共の議会も開かれた議会を目指している。その推進のため、様々な方向から実行することも重要と考え、赤トンボよろしく逆立ちして観るのも一興ではないかと思っている。

広報広聴委員会
広報部会

部会長／飯野 久 副部会長／飯久保 貴
委 員／吉松 大樹、清水 麻里、河阪 悠、秋山 浩志、相川 宗仁、
村松 三千雄、小池 伸吾、齊藤 博明、小林 敏徳

●第4回定例会の会期予定

11月28日 …… 本会議（初日）
11月28日 …… 委員会
12月1日～3日 …… 委員会
12月9日～10日 …… 代表・一般質問
12月11日 …… 委員会
12月17日 …… 本会議（最終日）

※日程等は、定例会前の議会運営委員会で正式に決定されます。（日程が変更になる可能性があります。）

みなさんの傍聴をお待ちしております！

事前申込不要 委員会も傍聴できます

●第3回定例会の傍聴者数：13人
※報道関係者13人は除く

南アルプス No.90
市議会だより

発行者 南アルプス市議会 〒400-0395 山梨県南アルプス市小笠原 376
TEL 055-282-6452 FAX 055-282-6459
URL <https://www.city.minami-alps.yamanashi.jp/gikai/>

